

# 与党案の是非、徹底討論を

一橋大学教授 高山 憲之

与党年金制度改革協議会の最終合意(厚年保険料18.30% 国年保険料280円増)に対する識者コメント

共同通信社 2004年1月30日配信

与党の最終合意案は、年金給付のための財源不足を若い世代の保険料の引き上げで負担する内容。給付額も当分の間、実質的に目減りが続くため、世代間の不公平感が一層強まるだろう。年金目的の消費税を導入したり、高額年金受給者のみを給付調整の対象とするなど、検討項目は多い。野党は国会で代替案を示し、与党案の是非について徹底的に議論してもらいたい。